

2023年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年4月14日

上場会社名 株式会社フロンティア 上場取引所 福  
 コード番号 4250 URL https://all-frontier.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田紀之  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 松前亮 (TEL) 092(791)8688  
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期第1四半期の連結業績 (2022年12月1日～2023年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期第1四半期	369	4.9	14	185.8	11	190.2	6	80.0
2022年11月期第1四半期	352	ー	5	ー	3	ー	3	ー

(注) 包括利益 2023年11月期第1四半期 3百万円(△33.2%) 2022年11月期第1四半期 5百万円(ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期第1四半期	9.49	ー
2022年11月期第1四半期	5.28	ー

(注) 1. 当社は、2021年11月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年11月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年11月期第1四半期	805	360	44.7
2022年11月期	1,004	367	36.5

(参考) 自己資本 2023年11月期第1四半期 360百万円 2022年11月期 367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年11月期	ー	0.00	ー	15.00	15.00
2023年11月期	ー				
2023年11月期(予想)		0.00	ー	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年11月期の連結業績予想 (2022年12月1日～2023年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	754	4.0	30	24.4	26	41.8	17	17.9	24.85
通期	2,060	7.4	114	89.6	101	128.9	76	96.2	110.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年11月期 1 Q	694,600株	2022年11月期	694,600株
② 期末自己株式数	2023年11月期 1 Q	－株	2022年11月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年11月期 1 Q	694,600株	2022年11月期 1 Q	694,275株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下、各種政策の効果もあって景気が持ち直しておりますが、一方で世界的な金融引締め等による海外景気の下振れ、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等によって景気を下押しするリスクがある等、先行き不透明な状況となっております。

このような状況の中で、当社グループ(当社、連結子会社)は、PB販売事業において、2022年11月24日に発表いたしました「山口工場に係るフロアマット製造の開始に関するお知らせ」に記載のとおりフロアマット製造工場を12月より操業開始いたしました。

OEM/ODM事業においては、クリスマス商戦に係る前期末の受注残が少なかったため、減収となりましたが、当期予算の計画範囲内となっております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高369,742千円(前年同期比4.9%増)、営業利益14,677千円(前年同期比185.8%増)、経常利益11,358千円(前年同期比190.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益6,594千円(前年同期比80.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① PB販売事業(Private Brand 販売事業)

自動車用品販売を主とするPB販売事業は、半導体不足等による納車遅延が続いておりましたが、徐々に回復傾向にあり、自動車の新車販売台数は、2022年12月から2023年2月までの期間の累計で前年同期比113.37%(2023年3月1日発表の一般社団法人「日本自動車販売協会連合会」統計資料より)となりました。

又、12月に稼働したフロアマット製造工場の稼働によって、フロアマットの品揃えが増加し、サイドパイザーとフロアマットのセット販売が可能となる等、これまで発生していた失注をなくすことができ、販売が好調に推移いたしました。

この結果、PB販売事業の業績は、売上高325,200千円(前年同期比34.0%増)、セグメント利益46,339千円(前年同期比47.5%増)となりました。

#### ② OEM/ODM事業(Original Equipment Manufacture/Original Design Manufacture 事業)

電子玩具販売を主とするOEM/ODM事業では、前期に引き続き人気キャラクターの児童向け電子玩具の引き合いや、商談も引き続き堅調で、期初から、既にクリスマスシーズンに向けた受注も入り始めており量産の準備を行っております。

この結果、OEM/ODM事業の業績は、売上高44,542千円(前年同期比59.4%減)、セグメント損失2,152千円(前年同期はセグメント利益3,290千円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べ190,090千円減少し、729,099千円となりました。現金及び預金の減少187,456千円、売掛金の減少50,133千円及び前渡金の増加21,000千円、商品及び製品の増加35,685千円等が主な要因であります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べ8,991千円減少し、76,667千円となりました。有形固定資産の減少4,238千円、投資その他資産の減少4,670千円等が主な要因であります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べ185,623千円減少し、254,013千円となりました。買掛金の増加1,485千円、短期借入金の減少199,967千円、未払金の増加13,863千円等が主な要因であります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べ6,534千円減少し、191,447千円となりました。長期借入金の減少8,421千円、資産除去債務の増加1,953千円等が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、前連結会計度末と比べ6,925千円減少し360,306千円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益6,594千円、配当金の支払い10,419千円、為替換算調整勘定の減少3,100千円等が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年1月13日に発表いたしました通期連結業績予想についての変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	418,068	230,611
売掛金	195,962	145,828
商品及び製品	235,446	271,131
前渡金	44,504	65,504
その他	25,227	16,048
貸倒引当金	△18	△25
流動資産合計	919,190	729,099
固定資産		
有形固定資産	76,791	72,553
無形固定資産	1,042	958
投資その他の資産	7,825	3,155
固定資産合計	85,659	76,667
資産合計	1,004,849	805,767

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	11,740	13,226
短期借入金	349,967	150,000
1年内返済予定の長期借入金	34,418	35,922
未払法人税等	1,944	1,807
その他	41,565	53,057
流動負債合計	439,636	254,013
固定負債		
長期借入金	193,609	185,188
その他	4,372	6,259
固定負債合計	197,981	191,447
負債合計	637,617	445,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	57,635	57,635
資本剰余金	37,276	37,276
利益剰余金	234,921	231,096
株主資本合計	329,834	326,009
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	37,397	34,297
その他の包括利益累計額合計	37,397	34,297
純資産合計	367,231	360,306
負債純資産合計	1,004,849	805,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
売上高	352,358	369,742
売上原価	231,107	216,617
売上総利益	121,251	153,124
販売費及び一般管理費	116,116	138,446
営業利益	5,135	14,677
営業外収益		
受取利息	2	255
利子補給金	713	713
その他	42	40
営業外収益合計	758	1,008
営業外費用		
支払利息	1,383	2,000
為替差損	580	2,327
その他	16	0
営業外費用合計	1,980	4,327
経常利益	3,913	11,358
税金等調整前四半期純利益	3,913	11,358
法人税、住民税及び事業税	461	98
法人税等調整額	△210	4,666
法人税等合計	251	4,764
四半期純利益	3,662	6,594
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,662	6,594



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	3,662	6,594
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,569	△3,100
その他の包括利益合計	1,569	△3,100
四半期包括利益	5,231	3,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,231	3,493
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PB販売	OEM/ODM	計		
売上高					
外部顧客への売上高	242,628	109,730	352,358	—	352,358
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	242,628	109,730	352,358	—	352,358
セグメント利益	31,414	3,290	34,705	△29,569	5,135

(注) 1. 「調整額」は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	PB販売	OEM/ODM	計		
売上高					
外部顧客への売上高	325,200	44,542	369,742	—	369,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	325,200	44,542	369,742	—	369,742
セグメント利益又は損失(△)	46,339	△2,152	44,186	△29,508	14,677

(注) 1. 「調整額」は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。  
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。